

これからの季節に備えたい感染予防対策について

ノロウイルスはこれから特に冬に向けて多く発生する感染性胃腸炎の原因となるウイルスです。特に高齢者やこどもは症状が重くなることが多くあります。ご家庭でできる感染防止策と対応についてまとめてみました。

■こんな症状が出たら注意

感染後1日か2日で吐き気、おう吐、発熱（高熱でないことも多い）、腹痛、下痢（白色になることもある）小児ではおう吐が続く、大人では下痢が続くといわれています。

■どこで感染したの？

1. カキやシジミ等の2枚貝では内臓に取り込むことがあるそうです。生食や不十分な加熱で食べてしまう場合。
2. 感染した人の排便やおう吐物に触れた人の手を介して口に入る場合。
3. 感染した人のおう吐物や排便が乾燥し口に入ってしまう場合。
4. 感染した人が十分な手洗いをせず調理したものを食べてしまう場合。

■感染予防には何をすればいいの？

1. 2枚貝を食べるときは十分な加熱。生食はなるべく避け85～90度以上で90秒以上加熱する。
 2. 十分な手洗い。手からの感染源になっていることがとても多く、感染予防の基本です。石鹸を使用し、指の間や指先や手のしわに菌が残しやすいため注意して洗いましょう。
 3. おう吐物や排泄物の処理・消毒に注意する。乾燥させないうちにすぐ対応することが大切です。
- ・処理する人は手袋とマスクを行い、2次感染に注意しましょう。
- ・汚染した衣類や調理器具は85度以上の熱湯消毒を1分以上するか、0.02%の次亜塩素酸ナトリウム液で10分程度消毒する。その後洗浄してください。

・おう吐物は乾燥すると菌が舞い上がるため、0.1%の次亜塩素酸ナトリウムで湿らせた布やペーパータオルで吐しゃ物を覆っておく、その間外から中へ0.1%の次亜塩素酸ナトリウムで湿らせた布やペーパータオル拭き掃除して下さい。

- ・汚物と掃除に使用したタオルはビニール袋に入れ、残りの消毒薬も入れ閉じます。そのビニール袋をまた新しいビニール袋に入れマスクと手袋も入れ処分します。
- ・処理時と処理後は換気を行って下さい。
- ・処理後には手洗いとうがい。可能なら処理後にシャワーを浴びる。
- ・感染者が使用したトイレを感染後1週間ほどは、排便後に毎回ドアノブや便座を消毒することが望ましい。希釈した消毒液は遮光の容器に入れ毎日交換してください。

消毒液の作り方

汚物等に使用
500ml

500mlのペットボトルの水にペットボトルキャップ2杯のハイター液を入れる。

衣類や調理器具
消毒や清掃用
2000ml

2Lのペットボトルの水にペットボトルキャップ2杯のハイター液を入れる。

冬は感染性胃腸炎だけでなく、インフルエンザなども流行します。感染で一番大切なことは手洗いです。洗いすぎによる手の荒れ予防に、手洗い後の保湿ケアにも注意し、健康に過ごしましょう。

（東京福祉保健局 ノロウイルス感染・ノロウイルスによる感染性胃腸炎食中毒に注意 参照）

人気の外食行事



編集後記

夜には涼しい虫の鳴き声が聞こえるようになってまいりました。これからゆっくりと秋も深まってまいります。スポーツの秋、読書の秋、芸術の秋と、秋にもいろいろありますが、皆様はいかがお過ごしになりますか？ 施設内でもご利用者様に、秋の季節を楽しんでいただけるイベントを準備しております。また職員一同、皆様と笑顔のひと時を過ごせることを願っております。編集長：松波彰誉、打出直己、北田美智子、高野憲一、高橋裕子、高谷真澄

令和元年9月19日発行

ウェルケア
広報誌

Vol. 53

こころ

【発行者】

医療法人社団 裕正会

介護老人保健施設 ウェルケア新吉田

<https://www.welcare.or.jp/> TEL: 045-590-3855(9:00~17:30)

1面：●デイフロア夏祭り ●サマーコンサート報告 2面：●納涼祭レポート
3面：●相談室よりご挨拶 ●仲町台クリニック開院
4面：●秋から冬に備える感染予防対策 ●外食行事 ●編集後記



会場全体が笑顔に包まれたデイフロアの夏祭り



いよいよ夏祭り開始！ 理学療法士の笹本さんが太鼓を披露！

デイケアでは8月12日から16日の1週間夏祭りを行いました。ピアノに合わせて歌を歌ったり、今年は初めて試みた秋田の民謡ドンパン節の盆踊りを行いました。職員が担ぐお神輿ではご利用者様が笑顔で応援してくれる場面もありました。また、的当てやヨーヨー釣りの縁日、参加賞プレゼントがあり、多くの方が参加され大変盛り上がり夏を感じることが出来ました。（広報委員会）



ヨーヨーが
沢山とれた
よ！



的当てに
挑戦する
ご利用者様！

サマーコンサート開催 <7月21日(日)14時～>



演奏者は佐々木淑子さん（右：フルート）と加藤美砂子さん（左：ピアノ）の2名。クラシックの定番から唱歌まで優雅な演奏が披露され、ご利用者様からご家族様まで一緒にコンサートを楽しめました。



夏の一大イベント「納涼祭」は今年也大盛況！



今年で第20回目となるウエルケア新吉田納涼祭が8月18日（日）に開催されました。ご家族様、地域の皆様が沢山お越し下さり誠にありがとうございました。

1階デイフロアでは、催し物の1つに正藤会による盆踊りがあり、ご利用者様も一緒に踊られ大変盛り上がりしました。また新棟ではフランクフルトや焼きそば、ジュースなどの飲食の出店があり、「美味しい」と喜ばれていました。正面玄関ではゲームのスペースがあり魚釣りやボッチャなどを行っている子供たちで笑い声が絶えず賑わっていました。

お祭りの最後に、男性職員によるお神輿がありとても迫力があり「ワッショイ！ワッショイ！」と掛け声がフロアに響いていました。

（広報委員会）



ご利用者様の作品も展示されました。



ご家族様やボランティアの皆様のおかげで楽しい時間を過ごすことができました。

子どもたちに人気の魚釣り。

改めて「ウエルケア新吉田とは…」～相談室よりご挨拶～

ウエルケア新吉田をご利用いただきまして、ありがとうございます。当施設では、住み慣れた地域でいつまでもお元気にお過ごしいただけるよう、医療とリハビリの強化、各専門職との連携を重視しております。ウエルケア新吉田の特徴としては



①医療に強い!!

施設長である橋本医師の専門は血液内科です。週に1回以上は利用者様の所に伺い、診察をしております。

風邪等の軽微な症状はもちろん、肺炎や尿路感染などは内服薬や抗生剤の点滴で治療をしています。糖尿病の血糖コントロールや血栓症の内服薬の量の調整などもお任せください!!

ご病状についてのご質問は、丁寧にご説明いたします。

また、整形外科、精神科、皮膚科、歯科が定期的に往診し、症状に合わせた内服薬の調整、治療を行っております。

②リハビリに強い!!

ご入所から3ヶ月間は、月曜日から土曜日まで週6回の短期集中リハビリがごございます。理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が利用者様の身体状況に合わせながら、1日20分間のリハビリを行っております。ご入所から3ヶ月以降は、週3回のリハビリとなります。ショートステイご利用の場合には、月曜日から土曜日までの1日20分間の個別リハビリがごございます。

③他職種連携が強い!!

医師、介護士、看護師、リハビリ専門職、管理栄養士、支援相談員、介護支援専門員が連携し、利用者様にとってより良い生活環境のご提案、自宅復帰、在宅支援を目指し、話し合いを重ねております。施設での生活のこと、今後のご自宅での生活についてなど、ご要望がございましたら、担当の支援相談員にお気軽にお声がけください。

（総合相談室室長 藤澤 哲）



9/9～
オープン

地域の健康長寿に貢献できるクリニックを目指します



駐車場20台完備



健康長寿とは超高齢化社会において、ご高齢となってもいつまでも介護を受けずに、自立して生活を送ることができることの意味です。要介護状態となる主な原因疾患として骨粗鬆症や骨折などの整形外科疾患と、脳血管障害・認知症・パーキンソン病などの脳神経疾患があげられます。これらの疾患を早期に診断し予防・治療（リハビリも含め）を行うことにより人はいつまでも自立した生活を送り健康長寿社会が達成できるものと考えております。

当クリニックビルは3階の「ウエルケアわきた整形外科」と2階の「ウエルケアはら脳神経内科」が連携して診断と治療にあたり、4階の広いリハビリ施設で経験豊かな理学療法士がリハビリ治療を行います。

私どもは地域の皆様の健康長寿に向けて、整形外科・脳神経内科の医師はもちろん、全スタッフが一丸となって地域の健康長寿社会の実現に貢献することを使命と捉え日々研鑽を積む所存です。

（医療法人社団裕正会 理事長 脇田正実）